



江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより
令和2年11月26日発行
通算 第514号

教育目標 強い子になろう



四つ葉のクローバー

校長 花生 典幸

朝夕めっきり寒くなってまいりました。コロナウイルスやインフルエンザの感染に十分に気をつけなければならない時節柄、しっかり防寒着を整え、手袋や耳当て等も身につけるなど、毎日の健康管理にしっかり気を配ってくださればと思います。

「自分の身（健康）は自分で守る」という意識が大事です。

さて、みなさんは、だれもが「四つ葉のクローバー」のことを知っていることと思います。見つけた人には、幸運が訪れるといわれる四つ葉のクローバー。

本来三つ葉であるクローバーが、四つ葉になる確率は、一万分の1とも十万分の1ともいわれ、探して集めようとすれば、かなりの労力が必要になります。ところが、お隣の韓国では、この四つ葉のクローバーを、なんと200葉も集めたおばあさんがいるのだそうです。

そのおばあさんは、ある日、突然の病気におそわれ、意識を失って倒れてしまいました。しかし、消防署の救急救命隊の懸命な手当によって、一命を取り留めます。

それから7年後の2007年1月、その消防署に彼女が封筒をもって突然現れたそうです。封筒の中には、縦15cm、横5cmの手作りのしおりが、職員の数とちょうど同じく100枚入っていました。それは、自分の命を助けてくれ、いつも地域のために働いている消防署員へのプレゼントだったのです。

しかし、それはただのしおりではありませんでした。しおりには、四つ葉のクローバーがそれぞれ2枚ずつ、美しい紅葉が2枚ずつ、きれいにラミネートされて貼られていたのです。

そのおばあさんは、元気になった後で、いつも命がけで危険な場所で人助けをしている消防署の職員が、幸運を身につけて無事でいられるようにと願いを込め、何年もかけて四つ葉のクローバーを集めていったんだそうです。すでに80歳を超えたおばあさんですから、腰や足にもかなりの負担だったはずですが、しかし、彼女は、お金や物を送っても受け取ってもらえる可能性は低いかなと考え、それならば自分ができることをしようと思い、時間を見つけてはクローバー探しに出かけ、こつこつ集め、心を込めてしおりに仕上げていったのです。

この消防署の職員たちは、仕事で現場に出かける際には、業務手帳にこのしおりをはさんで毎日携帯しているそうです。おかげで事故やけがが一切ないそうです。

まもなく学校は、冬休みに向けて慌ただしくなっています。学習や生活のまとめをしっかり行い、落ち着いて気持ちよく休みに入れるように励ましていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。



ホームページとブログがQRコードで見られます

ホームページのQRコード ブログのQRコード